

厚生労働省の乳幼児健康支援 一時預かり事業実施施設視察報告

あおぞら病後児保育室さくらんぼ 理事長 井崎和夫

この4月13日、岩田喜美枝厚生労働省雇用均等・児童家庭局長等5名の方が、乳幼児健康支援一時預かり事業の施設視察ということで来園されました。

まず地域子育て支援センター（国の交付金で作りました30㎡の可愛い建物です）にお通しし、説明・質疑応答・懇談後、園内を見て頂きました。

まず私から、乳幼児健康支援一時預かり事業の現状を、全国病児保育協議会のホームページのデータを引用させて頂き、ご説明申し上げました。神奈川県には、川崎市のエンゼル多摩、横浜市の（平成12年度より）2園はありますが、いずれも政令指定都市なので、正式には神奈川県下にはなく、今年度も1カ所の計画すらないこと。市町村も医師会も保育所もこの事業を十分理解されていないこと。逆に、本園は半径2kmの円周上に市民、労災、済生会病院があり、保育所利用者に医療関係者および教員が多く、理解が得やすく、利用者が毎月伸びていることをお話ししました。ついで、保育士より月別、疾患別、保育所別等の統計の説明を、子育て一般については、園長から説明致しました。

局長は「私も二人の子どもを保育園に預けて働いた。あの頃、このような施設があったらどんなに助かったでしょう。きっとリピーターが増えますよ。」という言葉に、雰囲気もなごみ、話が弾みました。

質問は「受け入れの時、または保育中に発熱があった時は？」「病後児保育の利用者がいない時、看護婦や保育士の業務は？」「他園から来たりして慣れない子どもの対応は？」「地域子育て支援センターは何をしますところですか？」等。

ちょうどこの日は利用者ゼロで、当園自慢の病後児保育室を十分ご説明し、「こうすれば隔離室になります」と局長等を隔離してしまいました。その後、保育所内をご案内しました。木を存分に用い安全を配慮した作りに、当園を紹介した横浜市当局も満足気でした。それにしても十分な運営費が望まれます。



地域子育て支援センターで懇談。



あおぞら病後児保育室を視察する岩田喜美枝厚生労働省雇用均等・児童家庭局長

視察に来園された方々

厚生労働省から

岩田喜美枝（雇用均等・児童家庭局長）

水田邦雄（審議官）

麻田千穂子（調査官）

田口雅之（母子保健課予算係長）

峯岸とも子（書記）

横浜市から

浅井規夫（横浜市福祉局児童福祉部次長
保育推進課長）

佐々田賢一（保育係長）

小野寺伸子（保育推進課）

病児保育室訪問12

あおぞら病後児保育室 さくらんぼ

平成12年12月に開室したばかりの「保育所併設型」の施設です。本園(定員120名)の待機児童が多いので、数年前から分園の計画を考えておりました。

理事長の有床診療所の空室を利用して、低年齢児の保育所を考え、あわせて医療機関併設型の病児保育室も、と平成10年頃から具体的に横浜市と折衝致しました。

しかし横浜市は人口344万の大都市で行政区も18区あり、日本一の待機児童を抱えている都市にも関わらず当地区には整備は考えていないとの回答でした。しかし、地域のニーズは根強く、独力での建設を決意致しました。経営上のことを考えると医療機関併設では、運営上問題があり、医療機関を廃止することに決意致しました。

平成11年、国は「少子化対策臨時特例交付金事業」を策定、横浜市に59億円が交付されました。また設計段階で平成12年度から乳幼児健康支援一時預かり事業に「保育所併設型」が追加され、私どもの計画が横浜市のモデル事業として取り上げられました。そして「保育所併設型病後児保育室」を設けた「あおぞら第2保育園(定員30名)」を開設することになりました。

昨年12月からと歴史は浅いのですが、理事長は早くから病児保育の必要性を説き、昭和42年に「ナオミ方式(バンビ病児予後保育室)」で開室直前までこぎつけたのですが、時期尚早、実現に至らなかった経緯がございます。

病児保育室は病児の出入口は一般と別個に設けられており、職員が前室で隔てられた病児保育室に入室するには、事務室を通らなければなりません。病児保育室部門は全体が「陰圧化」されており、絶えず新鮮な空気が送り込まれております。空調も別系統、大きく4ブロックに分けられる各部屋は、どの部屋も必要に応じて隔離室となるのが特徴です。

<施設紹介>

施設名 あおぞら病後児保育室 さくらんぼ

代表者 理事長 井崎和夫

住所 〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋二丁34-8

社会福祉法人あおぞら

あおぞら第2保育園内

電話 045-413-1114

FAX 045-413-0968

開設日 平成12年12月11日

定員 4名

対象年齢 生後57日～6歳(就学前)

職員数 常勤看護婦1名 保育士1名(利用者数により2～3名充当)



あおぞら病後児保育室の外観。とんがり屋根がかわいいですネ



手厚い保育看護で子どもたちも安心して過ごせます